



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 木村 直樹
 (氏名) 山田 正幸
 TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,339	3.1	4,174	18.7	4,738	1.1	2,997	△2.5
29年3月期第3四半期	23,608	△4.6	3,515	△16.9	4,687	△2.1	3,074	△6.0

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 3,622百万円 (8.8%) 29年3月期第3四半期 3,329百万円 (3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	926.09	—
29年3月期第3四半期	940.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	59,975	49,509	82.3
29年3月期	57,154	47,036	82.0

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 49,354百万円 29年3月期 46,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	350.00	350.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	300.00	300.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	3.6	4,900	1.9	5,200	△12.0	3,600	△9.1	1,102.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	4,512,651 株	29年3月期	4,512,651 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,276,219 株	29年3月期	1,275,770 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	3,236,627 株	29年3月期3Q	3,267,130 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、北朝鮮情勢の緊迫化、米国の政治動向、中国の景気失速懸念等の不透明な材料があるものの、緩やかな回復基調が続いています。

わが国の経済は、為替が安定し、企業業績や雇用情勢の改善により、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しておりますが、インバウンド消費が減速し、個人消費も伸び悩んでおり、また足元では、原油・ナフサ価格の上昇による収益悪化の影響が出始めております。

当社グループの重要な販売分野である繊維工業関連におきましては、国内では生産拠点が海外に移転し、また国内大手顧客の不採算製品の生産中止及び体力強化のための事業構造改革の影響による販売量の減少などもあり、依然として厳しい状態が続いております。一方、海外の繊維工業関連におきましては、長年に亘り生産拡大路線を続けてきた中国繊維産業の設備投資に陰りが見え始めています。反面、一部地域で発生していた工場の環境対策工事による操業停止や生産調整が、徐々に緩和されつつあります。

非繊維工業分野におきましては、国内自動車関連では軽自動車の販売が復調し、建築関連では低調だった建築資材の生産も徐々に持ち直してきております。海外自動車関連では、最大の市場である中国で新車販売の伸びが減速し、好調を維持していた米国市場も前年比マイナスが続く中、インド市場が拡大してきております。

このような状況下、当社グループでは高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した製品の早期開発に注力してまいりました。また、国内においては、顧客の生産拠点の海外移転への対応を柔軟に行い、海外においては、主力の中国市場以外での拡販にも注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高24,339百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益4,174百万円（前年同四半期比18.7%増）、経常利益4,738百万円（前年同四半期比1.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,997百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は23,765百万円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント利益（営業利益）は4,140百万円（前年同四半期比19.7%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が縮小傾向の中、不織布関連分野の販売が増加し、他の分野でも安定した販売を継続しております。海外向けでは、主として中国合繊メーカーへの販売が不振となり販売数量が減少し、外部顧客に対する売上高は2,437百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化により衣料分野の加工量は減少しましたが、産業資材分野におきましては堅調な販売となりました。非繊維工業分野ではトイレタリー分野が堅調で、前年同期を上回る販売となりました。海外では自動車関連をメインに産業用繊維分野、高機能繊維分野において販売数量を伸ばしましたが、一般衣料用が不調でした。その結果、外部顧客に対する売上高は13,815百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維工業関連加工剤の販売は加工量の減少の影響を受け若干の減少となりました。非繊維工業分野では両性イオン界面活性剤の不採算製品を販売中止とした為に販売が減少し、外部顧客に対する売上高は683百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、加工量が回復し前年同期を上回る結果となりました。非繊維工業関連では、建築関連は全般的にやや低調で、化粧品原料の販売数量が減少となりましたが、自動車関連をはじめとする海外需要の取り込みにより前年同期を上回る販売となりました。設備投資関連資材は、好調な半導体市場の影響で前年同期を上回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は6,828百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は573百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益（営業利益）は38百万円（前年同四半期比32.4%減）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、ポリエステル糸向け油剤が順調に推移しましたが、スパン用糸糸

油剤や紡糸油剤が不調となり販売数量は前年同期を下回りました。その結果、外部顧客に対する売上高は291百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、販売数量が回復傾向にあり、前年同期並みとなりましたが、他社との競合等により販売単価が下落しております。その結果、外部顧客に対する売上高は270百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高はそれぞれ5百万円（前年同四半期比0.2%減）及び6百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比2,820百万円（4.9%）増加して、59,975百万円となりました。流動資産は前期末比1,237百万円（2.8%）増加の45,615百万円、固定資産は前期末比1,582百万円（12.4%）増加の14,359百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が4,782百万円減少したものの、有価証券が5,181百万円、受取手形及び売掛金が1,083百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が1,023百万円、機械装置及び運搬具が442百万円、建物及び構築物が139百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比347百万円（3.4%）増加の10,465百万円となりました。流動負債は、前期末比173百万円（2.0%）減少の8,352百万円、固定負債は前期末比520百万円（32.7%）増加の2,113百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、その他が579百万円、買掛金が189百万円それぞれ増加したものの、未払法人税等が806百万円、賞与引当金が135百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、退職給付に係る負債が422百万円、繰延税金負債が106百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比2,473百万円（5.3%）増加して49,509百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金が1,864百万円、その他有価証券評価差額金が597百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。この結果自己資本比率は、前期末の82.0%から82.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、現時点において平成29年5月12日に公表しました当初予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,506	19,723
受取手形及び売掛金	8,537	9,620
有価証券	7,521	12,703
商品及び製品	1,838	1,750
仕掛品	410	373
原材料及び貯蔵品	1,120	1,169
未収還付法人税等	99	2
繰延税金資産	223	127
その他	121	146
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,378	45,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,850	7,094
減価償却累計額	△4,970	△5,075
建物及び構築物(純額)	1,880	2,019
機械装置及び運搬具	11,350	11,907
減価償却累計額	△9,900	△10,015
機械装置及び運搬具(純額)	1,449	1,892
土地	531	530
建設仮勘定	122	89
その他	1,466	1,445
減価償却累計額	△1,314	△1,309
その他(純額)	151	136
有形固定資産合計	4,135	4,667
無形固定資産		
その他	24	23
無形固定資産合計	24	23
投資その他の資産		
投資有価証券	7,565	8,589
その他	1,058	1,084
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	8,616	9,667
固定資産合計	12,776	14,359
資産合計	57,154	59,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,029	6,219
未払法人税等	1,248	441
賞与引当金	281	145
その他	966	1,545
流動負債合計	8,525	8,352
固定負債		
退職給付に係る負債	594	1,017
厚生年金基金解散損失引当金	288	288
資産除去債務	105	106
繰延税金負債	523	629
その他	80	71
固定負債合計	1,592	2,113
負債合計	10,118	10,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	40,050	41,914
自己株式	△7,311	△7,316
株主資本合計	45,346	47,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,786	2,383
為替換算調整勘定	△128	△125
退職給付に係る調整累計額	△131	△109
その他の包括利益累計額合計	1,527	2,148
非支配株主持分	162	154
純資産合計	47,036	49,509
負債純資産合計	57,154	59,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	23,608	24,339
売上原価	17,046	17,194
売上総利益	6,562	7,144
販売費及び一般管理費	3,046	2,969
営業利益	3,515	4,174
営業外収益		
受取利息	67	53
受取配当金	73	82
持分法による投資利益	128	131
為替差益	845	219
その他	94	90
営業外収益合計	1,208	578
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	0	6
その他	36	8
営業外費用合計	37	14
経常利益	4,687	4,738
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	72	-
投資有価証券償還益	85	-
特別利益合計	159	0
特別損失		
固定資産除却損	3	1
退職給付費用	-	428
投資有価証券償還損	57	-
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	288	-
特別損失合計	348	430
税金等調整前四半期純利益	4,498	4,308
法人税、住民税及び事業税	1,419	1,362
法人税等調整額	△11	△61
法人税等合計	1,408	1,301
四半期純利益	3,089	3,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,074	2,997

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,089	3,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	597
為替換算調整勘定	△49	△16
退職給付に係る調整額	13	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	14
その他の包括利益合計	239	615
四半期包括利益	3,329	3,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,331	3,618
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	23,014	594	23,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	237	27	264
計	23,251	621	23,873
セグメント利益	3,457	57	3,514

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,514
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,515

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	23,765	573	24,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	249	35	285
計	24,014	609	24,624
セグメント利益	4,140	38	4,179

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,179
棚卸資産の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	4,174